

「平成28年熊本地震」における
国立病院機構の支援活動について（第8報：4月22日16時）

<※ 第7報からの変更箇所を下線を引いています。>

平成28年4月14日（木）に発生した「平成28年熊本地震」における国立病院機構の支援活動について、平成28年4月22日（金）16：00時点の状況は以下のとおりです。（詳細は別添のとおりに）

国立病院機構は、引き続き支援活動に取り組んでまいります。

1. DMAT・DPAT（※）活動状況

17チームのDMAT、2チームのDPATの約95名の医師、看護師等が活動中。（のべ59チーム、約295人が活動）

（※）DMAT： 大地震及び航空機・列車事故等の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チーム

DPAT： 被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行うための専門的な精神医療チーム

2. 医療班の派遣

避難所において医療支援等を行う医療班をのべ15チーム（計83名）、4月15日より被災地に派遣。現在（4月22日16時）は、5チーム（計26名）を派遣中。

3. 本部・グループの主な動き

4月14日

- 21:41 機構本部に災害対策本部設置
熊本医療センターに現地対策本部設置
- 23:00 初動医療班へ待機指示

4月15日

- 3:52 初動医療班派遣
- 12:00 第1回災害対策本部
初動医療班等の状況確認・追加派遣の決定
- 18:00 第2回災害対策本部
状況確認・支援活動の調整

4月16日

- 13:00 第3回災害対策本部
大牟田病院に後方支援拠点設置を決定
大分医療センターに現地対策本部設置を決定
熊本医療センター、大牟田病院、大分医療センターへ現地対策本部、後方支援拠点運営支援のためのスタッフ派遣を決定
水・食品等の物資搬送を決定
- 20:30 四国こどもとおとな医療センターより水、食料等の物資搬送を開始

4月17日

- 10:00～ 中国四国グループの3施設(東広島医療センター、関門医療センター、岩国医療センター)から水、食料等の物資を搬送
- 13:00 第4回災害対策本部
医療班の現地での移動手段確保について決定
厚生労働省からの患者受入の協力要請に対して受諾を決定
理事長より全病院に対する協力要請発出を決定

4月18日

- 9:00 浜田医療センターより、物資を搬送
- 10:00 第5回災害対策本部
医療班等のコンピュータ端末の手配について決定
政府等の動きについて各グループ・病院への情報共有を決定
震災を受けて通常業務の取扱いについて精査を決定

4月19日

- 10:00 第6回災害対策本部
九州グループ職員参加(TV電話)の上、会議を開催
九州グループから支援活動の状況・現地の周辺状況を報告
報告を受けて、医療班を今後も編成していくことについて確認
医療班の数については現地の状況や熊本県の会合を踏まえて決定していく方針を確認
熊本・大分の現地対策本部、大牟田の後方支援拠点について、応援の人員

を調整

熊本医療センター、熊本再春荘病院に対する他施設からの看護師、事務、薬剤等の応援の調整

日本小児アレルギー学会の協力要請を受諾することを決定

4月20日

10:00 第7回災害対策本部(九州グループ職員参加(TV電話)の上、会議を開催)

熊本県知事からの依頼を受けた医療班の追加派遣について調整及び決定

医療班の宿泊先の確保・調整状況の確認(当面、九州グループでの確保)

大牟田病院後方支援拠点の物資の在庫状況から、追加搬送等の依頼を決定

建物等の状況確認のため、熊本に加えて大分にも営繕職員の派遣を決定

日本小児アレルギー学会への協力方法について確認

4月21日

10:00 第8回災害対策本部(九州グループ職員参加(TV電話)の上、会議を開催)

今後の本部職員の派遣計画について決定

今後の物資搬入について、九州グループからの状況報告を受けて、被災病院の需要の変化に応じて大牟田後方支援拠点の備蓄の規模・体制を柔軟に見直していく方針を決定

菊池病院の重心病棟の損壊を受けた対応について今後の調整方針を決定

DMATが今後体制を縮小していく中で医療班の活動については、現地の医療需要や国や県の要請などの状況を注視して適切に対応していく旨、認識を共有
震災から一週間の区切りで、状況をまとめ情報発信を行う旨決定

4月22日

10:00 第9回災害対策本部(九州グループ職員参加の上開催)

16:00 第10回災害対策本部(九州グループ、熊本現地対策本部職員参加の上開催)

今後の本部職員の派遣計画について修正の上決定

今後の物資搬入について、九州グループ・現地対策本部からの報告を受けて、
現地の需要に応じて大牟田後方支援拠点の体制を見直すとともに、医療班の物資調達方法も見直すことを決定

現地対策本部からの報告を受けて、今後の医療班の派遣数については、県・市
と調整の上見直していく方針を決定

1週間経過時点でのプレスリリースの内容を決定

※平成28年4月22日18時時点

1. DMAT、DPAT活動状況

◆DMAT、DPAT本部活動

場 所	チーム数	DMATまたはDPAT名
本部 厚生労働省DMAT事務局 (災害医療センター) (大阪医療センター)	3チーム	・災害医療センターDMAT 2
		・災害医療センターDMAT 10
		・大阪医療センターDMAT 1
本部 熊本県DMAT調整本部	3チーム	・九州医療センターDMAT 3
		・災害医療センターDMAT 11
		・災害医療センターDMAT 12
本部 熊本県医療救護調整本部	2チーム	・災害医療センターDMAT 1
		・災害医療センターDMAT 6
本部 阿蘇医療センターDMAT活動拠点本部	2チーム	・災害医療センターDMAT 3
		・高知病院DMAT 1
本部 菊池保健所医療救護班活動拠点本部	2チーム	・災害医療センターDMAT 4
		・災害医療センターDMAT 5
本部 熊本県庁	1チーム	・東京医療センターDMAT 2
本部 熊本県DPAT調整本部	1チーム	・沖縄県DPAT 2 (琉球病院)
本部 長崎医療センター	2チーム	・長崎医療センターDMAT 1
		・長崎医療センターDMAT 3

◆熊本県へのDMAT、DPAT支援状況

場 所	チーム数	DMATまたはDPAT名
熊本医療センター	1チーム	・熊本医療センターDMAT 3
阿蘇市役所	1チーム	・榊原病院DPAT
阿蘇医療センター	1チーム	・嬉野医療センターDMAT 1

2. 医療班の派遣状況

場 所	チーム数	派遣病院
益城町総合体育館 (ミナテラス)	2チーム	・松江医療センター (福山医療センターと交代) ・福山医療センター
熊本市内避難所巡回	1チーム	・九州がんセンター
益城町保健福祉センター	2チーム	・九州医療センター ・長崎医療センター